

# 京都市の学校評価

～ 学校関係者評価の充実に向けた取組～

京都市教育委員会

## はじめに

- < 京都方式の学校評価 >
- 学校・家庭・地域がそれぞれの在り方を振り返り，自ら高まると同時に相互に高め合う。
- 学校・家庭・地域が育てたい子ども像を共有，協働してその実現を図るため，当事者意識を持った評価を基本とする。
- 学校評価と学校評議員・学校運営協議会・PTA等の活動，ボランティアの参画などを効果的に連動させる。

# 1 京都市における“学校関係者評価”

- 学校評価ガイドライン第一版（平成15年3月）における位置づけ「外部評価」実施上の留意点

- ・ 保護者等へアンケート形式で実施し，意見を集約する。
- ・ 「自己評価結果を説明し，学校評議員やP T A役員の方などから，**記述・口頭での意見を集約**する。

（一次外部評価）

- ・ 「自己評価」と「外部評価」の両方の結果を学校評議員やP T Aの方に説明し，**意見を集約**する。

（二次外部評価）

# 1 京都市における“学校関係者評価”

- 学校評価ガイドライン第一版（平成15年3月）における位置づけ（5） 評価結果は，充実・改善策を明らかにして自校（園）の教育活動に生かすとともに，保護者・地域の方にも公表する。

「自己評価」「外部評価」は，評価の分析を受けて教育活動の充実・改善を図ることがねらいである。さらに，その**結果を公表**することで学校と家庭・地域がお互いの役割を明らかにしていくことが期待できる。そのためにも，公表の方法及び時期までを「年間評価計画」に位置づけておくことが必要である。

# 1 京都市における“学校関係者評価”

- 学校評価ガイドライン第二版（平成19年4月）における位置づけ  
8 「学校評議員の会」「学校運営協議会」の活用

「自己評価」「外部評価」「児童生徒による評価」の結果や分析，考察改善策等を「学校評議員が一堂に会する場」や「学校運営協議会」で**説明し，意見を求め**，「学校評価」が適切に行われたかどうか，学校運営の改善に向けた取組が適切かどうかを検証し，学校改善に生かす。

（文部科学省のガイドラインによる「外部評価委員会」の機能を果たす）

<留意点>

**学校評議員や学校運営協議会からの意見**は，学校評価結果の分析・考察・改善策とともに，**必ず公表**すること。

# 1 京都市における“学校関係者評価”

- 学校評価ガイドライン第三版（平成21年6月）における位置づけ  
5 自己評価結果に対する学校関係者評価の実施

- 学校運営協議会又は学校評議員が委員会を組織して行う評価を「**学校関係者評価**」とする。
- 自己評価結果を学校運営協議会または学校評議員に示し，評価を得るとともに，課題の改善策，**地域・保護者の支援策等を協議**する。
- 学校関係者評価の評価者としての意識を高め，視点を明らかにするために，学校運営協議会や学校評議員等を対象とした研修会等を開催する。

# 1 京都市における“学校関係者評価”

- 学校評価ガイドライン第三版（平成21年6月）における位置づけ  
6 自己評価結果・学校関係者評価の公表

- 自己評価，**学校関係者評価**の結果は，学校だよりやホームページ上で公表する。
- 結果だけでなく，取組の成果，課題に対する改善策を示し，改善に向けて**保護者や地域の方の行動が得られるよう**公表内容を工夫する。

## 2 評価者の研修

## フォーラム

**子どもを共に育む  
未来づくり  
教育フォーラム in 京都**

～地域ぐるみ・社会総がかりで進める人づくり～

日時・会場  
平成22年7月28日水  
サントリー17:00(受付開始16:00)  
国立京都国際会館

**第2分科会** 14時00分～17時00分 学校関係者研修会 注進研修会  
今、子どもたちのためにできること  
～子育て“まよりかん” 調査・改善の取組に向けて～

**第3分科会** 14時00分～17時00分 Y2100000000 自分の生き方をみつけ、生きる力をつける教育  
～プロフェッショナルの生き方を学ぼう～

**第4分科会** 14時00分～17時00分 小中一貫で進める開かれた学校づくり  
～小中一貫による学校評価と学校改善取組あり、県立高校の取組に向けて～

## 2 評価者の研修 フォーラム

**第4分科会** 14:00~17:00 (会場: 京都市総合教育センター)

**小中一貫教育 小中一貫で進める開かれた学校づくり**  
 ~小中一貫による学校評価や学校運営協議会、学力向上の取組等に向けて~

本市では、家庭や地域と情報、課題、目標などを共有しながら、それぞれの学校や地域の特徴を生かした取組を進め、義務教育9年間の「学び」と「育ち」を一層充実させる効果的な小中一貫教育の実践を積み重ねてきました。小中一貫による開かれた学校づくりのさらなる推進に向け、小中9年間で育てたい子ども像の共有の視点を踏まえた今後の学校評価や学校運営協議会の方向性、学力向上の取組等を考えます。(定員:500名)

■報告 京都市教育委員会 学校指導課

■講演 「開かれた学校づくりと学校評価  
 ~「クリティカルフレンド」との協働を目指して~  
 植田みどり氏(国立教育政策研究所  
 教育政策・評価研究部 主任研究官)

■実践発表等  
 京都嵯峨学園(京都市立嵯峨中学校、嵯峨小学校、  
 嵐山小学校、広沢小学校)

植田みどり氏

**会場案内図**

京都市総合教育センター  
 (河原町通仏光寺西入)  
 最寄: 京都市バス「西条河原町」停留所、京阪「嵯峨岡崎」駅、近畿「河原町」駅(京都市営地下鉄烏丸線「西条K09」駅乗換)

京都嵯峨学園の先進的な取組を全市に発信

## 2 評価者の研修 フォーラム



当日の参加者は、500名  
 (教職員, PTA., 学校関係者)



嵯峨学園の関係者による  
 パネルディスカッション



## 2 評価者の研修

## 学校評価システム

### 「学校評価ガイドライン」改定のポイント

自己評価の充実 ..... 学校評価の基本となるのが自己評価です

- 1 学校教育目標の具体化** → 目標の具体化と共有化
  - 年度当初に、学校教育目標の実現に向けた学校経営方針を策定し公表します
- 2 教職員の共通理解と計画的な評価** → 教員一人一人が評価者の視点を持って
  - 校内で評価項目を共有し、一人一人が評価者の視点を持って、学校運営、学業経営に取り組めます
- 3 アンケートによる評価の実施** → 当該の検証が可能なアンケートの実施を
  - 「誰がが学力」「誰がが心」「誰がが心身」に関する項目は必ず評価します
  - 児童・生徒、保護者の声を大切に評価します
- 4 アンケート結果を踏まえた自己評価の実施** → 目標達成度を教職員が評価
  - アンケート結果に各種データ等を組み合わせ、多面的に分析・考察します
  - 自己評価結果をもとに、成果と課題、具体的な改善策を教職員全員が共有します

学校関係者評価の充実 ..... 年間を通じた評価活動への参画をお願いします

- 5 自己評価に対する学校関係者評価の実施** → 自己評価の結果を客観的に評価
  - 学校運営協議会又は学校評議員等(学校関係者)による評価委員会を設置します
  - 評価結果を学校関係者による評価委員会に示し、評価及び改善策・支援策を協議します

**Point**  
学校関係者には、評価項目の検討段階から、日々の教育活動への参画、年度自己評価結果に対する評価及び学校の改善に向けた支援策の検討など、年間を通じた評価活動への参画をお願いします。

公表・報告 ..... 分かりやすさを基本にします

- 6 自己評価結果・学校関係者評価結果の公表** → 結果を公表し、改善に向けた行動を共有
  - 学校の魅力、課題を重点化し、改善策を明記して、見やすく分かりやすい記述にします
  - 自己評価結果、学校関係者評価を合わせて公表します(評価表の工夫)
- 7 教育委員会への報告** → 評価結果を教育委員会が活用

### より効果的・効率的に行える評価を!

結果！便利！集計が早い!

かんたん調査票作成ソフト、かんたん調査票読み取りソフトの活用を推奨しています。

各市では、慶應義塾大学との共同研究による、新しい学校評価支援ソフトの活用を推奨しています。各学校での学校評価の省力化、効率化を図るとともに、より具体的な多面的な分析が可能になります。

◆かんたん調査票作成ソフト

◆かんたん調査票読み取りソフト

ドキュメントスキャナで読み取った画像を高速度で処理・集計

調査を見ながら、手順に沿って簡単にマークシート方式のアンケートを作成

特に、調査票と実施度を伴う「ニーズ調査型」アンケートを推奨

## 2 評価者の研修

## 学校評価システム

### 見える評価・生きる評価・活かせる評価を!

魅力と課題を両立する「ニーズ調査型」アンケートの活用を推奨しています。

「重要度」と「実現度」を軸にした「ニーズ調査型」アンケートの活用により、かんたんアンケート形式で、それぞれが分かりやすく動機化。

学校評価支援システム(ニーズ調査型アンケート)の活用で、**自動的に分かりやすい分析結果を導き出す!**

◆分析結果

重要度と実現度の関係を相対的にとらえることで、教職員や保護者の意識のずれや学校の魅力、課題を客観的にとらえることができ、客観化した分析が可能になります。

◆分布

**Point**  
学校評価の結果が見えること、活かせること、活かせることが重要です。新しい学校評価支援システムの活用で、自校の魅力と課題を客観化し、取り組む方向と改善策の導きが可能になります。

### 簡潔で見やすく、分かりやすい公表と報告を!

学校の魅力や課題が見える、分かるよう効果的に内容を整理し、公表をお願いします。

各学校において、魅力と課題を重点化し、具体的な改善策が見える公表を工夫しましょう。

◆学校評価(見直し)

◆学校評価(公表)

重点化した、客観的な分析と改善策の提示

内容によって

アンケートによらない評価指標も活用

支援の材料として活かすための統一書式





## 2 評価者の研修

## 京都市の教育

**学校教育の今日の課題** 子どもや地域の課題に応じて解決していくべき課題は山積しているが、下記に示す課題は、今日の課題として、学校全体で考えます。課題を克服させていかなければならない。各学校においては、当該の教育活動の中に課題解決に向けた教育活動を位置づけ、高教員一層、校内活動において、課題の解決を目指す取組を推進する。

<p><b>異年齢活動の充実</b></p> <p>●異年齢活動の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●異年齢活動の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●異年齢活動の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p>	<p><b>生涯学習教育（キャリア教育）の充実</b></p> <p>●キャリア教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●キャリア教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●キャリア教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p>	<p><b>中高一貫教育の推進</b></p> <p>●中高一貫教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●中高一貫教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●中高一貫教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p>
<p><b>伝統文化・芸術理解教育の充実</b></p> <p>●伝統文化・芸術理解教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●伝統文化・芸術理解教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●伝統文化・芸術理解教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p>	<p><b>遠征教育の充実</b></p> <p>●遠征教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●遠征教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●遠征教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p>	<p><b>総合的な学習の時間の充実</b></p> <p>●総合的な学習の時間の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●総合的な学習の時間の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●総合的な学習の時間の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p>
<p><b>進路教育の充実</b></p> <p>●進路教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●進路教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●進路教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p>	<p><b>理数教育の充実</b></p> <p>●理数教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●理数教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●理数教育の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p>	<p><b>総合的な学習の時間の充実</b></p> <p>●総合的な学習の時間の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●総合的な学習の時間の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p> <p>●総合的な学習の時間の推進 児童生徒は、年齢に達しない年齢の子と交流し、互いに学びあう機会を創出する。</p>

## 2 評価者の研修

## 京都市の教育

社会全体で育む子供たち  
**京都市の教育改革**



京都市では、学校と家庭・地域が協働し、経済力や学力、戸口など、様々な課題と向き合い、社会全体で子どもを育てています。安心して学ぶ学校づくり、地域とつながる豊かな体験活動、全ての児童生徒が活躍できる環境づくりなど、様々な取組を市民の皆様とともに進めています。皆様のご理解とご協力を重ねてまいります。

京都市教育委員会

学びが変わる 学校が変わる  
**京都市の小中一貫教育**



『小学校』『中学校』の枠を超えた新しい「義務教育」の創造

京都市では、小中学校の子どもたちの心身の発達に合わせた教育プログラムを構築するとともに「子どもたちが思いどおしく学び、より良い学力を身に付けること」が出来るよう、教育活動の連携・協働を通じた「連携小中一貫教育」を推進します。

京都市教育委員会

### 3 地域の子どもは地域で育てる

- より良い学校づくりの**当事者としての意識を持った**評価  
「一人ひとりがそれぞれの立場でできることを」  
「自らを振り返り，互いに高めあう」
- **小中9年間の学びと育ちの連続性**を意識して  
「学びをつなぐ，育ちをつなぐ」  
「人（地域）をつなぐ，評価をつなぐ」
- **年間を通した評価活動への参画**を  
「来てください，見てください，知ってください，そして関わってください」  
「参加から参画へ」
- 「情報」「課題」の**共有**から「行動」の**共有**，そして「評価」の**共有**

# 嵯峨小学校の学校評価 (学校運営協議会と 学校関係者評価)

京都府 京都市立嵯峨小学校  
校長 牧 嶋 徹

## 嵯峨小学校 校区の特色



天龍寺



お松明



嵯峨御流



渡月橋



小倉山

# 地域の協力



地域各種団体



地元保勝会

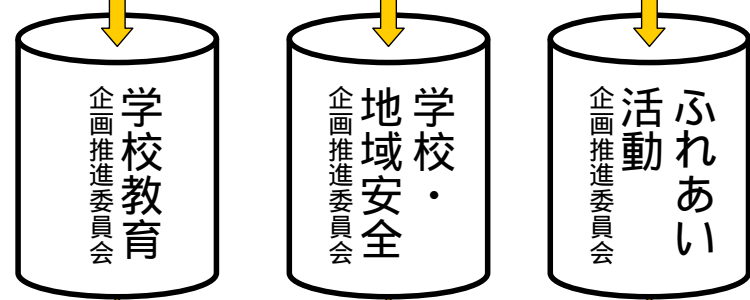


PTA

# 学校運営協議会



## 学校運営協議会理事会



## 学校

これまでに培ったネットワークとフルに生かして

# 学校評価の捉え方

学校教育目標

## 自分らしくかがやく子

～自分大好き、友だち大好き、キラキラ笑顔～

機能し、実践が  
進捗しているか

### 学校経営方針 学校評価

- 魅力と最重要課題を明確化
- 結果を積極的に学校運営に反映させる「攻め」の姿勢

児童の学びと育ちが  
保障されているか

# 評価計画・評価内容の共有

平成21年度学校評価結果

平成22年度学校経営方針に反映

## 重点化項目の設定

- ・ とりわけ学校と保護者の共同歩調が必要な内容
- ・ 保護者・地域に分かる・見える内容



リーフレット発行

# 評価者としての視点を育てる

全市対象

本校独自



学校評価に携わっていただくための視点づくり



# リーフレット「嵯峨小学校の教育」

<p><b>勉強がわかる学校</b> 「勉強が楽しい」と感じられる授業を行います。</p>	<p><b>重点目標</b></p>
<p>「わかる喜び」「できる喜び」「学ぶ楽しさ」があふれる授業をめざして—1学期、3つの授業像を心がけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① その時間のめざすべきです。</li> <li>② 全員が発表できる工夫をします。</li> <li>③ 目で見てよくわかる授業像を工夫します。</li> </ul> <p>「ことば」を大切にすることをめざして—「言語活動」を重視します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの教科でも、「書く」授業に力を入れます。</li> <li>国際科では、書簡を基にしたづくりや紙芝居の工夫をします。</li> <li>2年生以上では、日常的に国際辞典を参照して行います。</li> </ul> <p>いきいきとしたノートづくりをめざして—自学自習にもつなげるノート指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業をお手本にしながら、発達段階に応じたノート指導を進めます。</li> <li>ポイントのコマンドなどで、やる気を引き出すようにします。</li> </ul> <p>コミュニケーションを築く力の育成をめざして—全学年で外国語活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>包括が中心となって、「進みがわかるうれしさ」「心が通い合う楽しさ」が感じられる外国語活動を推進します。(年間5回程度・2日時間)</li> <li>もじり (外国語指導) やデジタル教材なども発達段階に応じて活用します。</li> </ul>	<p>温かい手紙づくりをめざして—自分の意見を遠くで発表できる安心を身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人を積極的に応援する取組を工夫して行います。</li> <li>いじめ、差別は絶対に許さず厳しく取り扱います。</li> <li>道徳学習を充実させます。</li> <li>「なごまういっか」には、計画的に人権授業を行います。</li> <li>子どもたちの聲をよく聞き、進捗に授業を行うとともに、聲を聞き合ひ、愛し合ひ、励め合う次世代の関係を築きます。</li> <li>声だけでなく、形も合う次世代の関係を築きます。</li> <li>声だけでなく、心も通い合うようにしてください。</li> </ul> <p>心が通い合う授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心を通い合う授業</li> <li>心を通い合う授業</li> <li>心を通い合う授業</li> </ul> <p>3つの「あ」が根付く学校をめざして—人とのつながりを大切にする取組として、継続して推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明るく元気なあいさつの「あ」…まずは「おはよう」「こんにちは」「よろなら」が当たり前に言えるよう指導します。</li> <li>「あ」といふ「あ」…あどから愛する人々を育てる姿勢を育てます。</li> <li>「あ」といふ「あ」…感謝の気持ちを育てます。</li> </ul>
<p><b>評価のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ お子たちは、学校の勉強がよく分かっているでしょうか。</li> <li>□ お子たちは、進んで文章を書くようになってきているでしょうか。</li> <li>□ お子たちは、大事なことをノートに書くようになってきているでしょうか。</li> <li>□ お子たちは、進んで人とコミュニケーションを図るようになってきているでしょうか。</li> </ul>	<p><b>具体的な取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ お子たちは、自分の意見を遠くで発表できる安心を身につけているでしょうか。</li> <li>□ お子たちは、いじめ、差別は絶対に許さず厳しく取り扱っているでしょうか。</li> <li>□ お子たちは、道徳学習を充実させているでしょうか。</li> <li>□ お子たちは、「なごまういっか」には、計画的に人権授業を行っているでしょうか。</li> <li>□ お子たちは、子どもたちの声をよく聞き、進捗に授業を行っているかどうかを評価しているでしょうか。</li> <li>□ お子たちは、心を通い合う関係を築いているかどうかを評価しているでしょうか。</li> </ul>
<p><b>評価のポイント (評価計画)</b></p>	<p><b>評価のポイント (評価計画)</b></p>

# 保護者アンケートの変更



## 第1回学校評価アンケート（保護者） 質問用紙

- ・ 回答は、すべて「マークシート方式の回答用紙」に記入してください。
- ・ 提出していただくのは「マークシート方式の回答用紙」のみです。この質問用紙を提出していただく必要はありません。

### 1. わかる授業について

- ① 学校の授業の進め方について、関心をおもちですか。
- A とても関心がある
  - B 関心がある
  - C あまり関心がない
  - D 全く関心がない

➡ 保護者が自身を振り返る

- ② 我が子は、学校の勉強がわかっていると思われませんか。
- A わかっている
  - B だいたいわかっている
  - C あまりわかっている
  - D 全くわかっている
  - E 把握していない

➡ 我が子を改めて見つめ直す

重要度

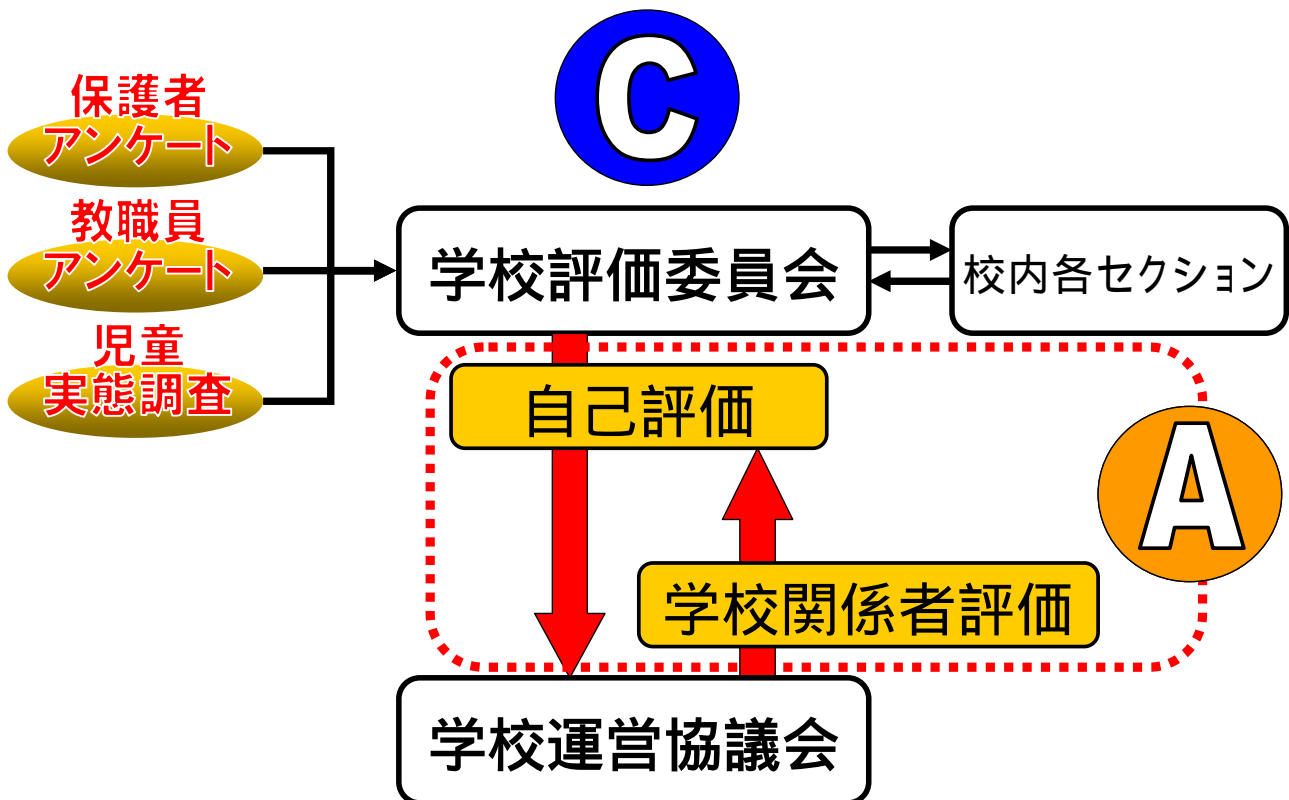
実現度

### 2. ノートを書く力を育てることについて

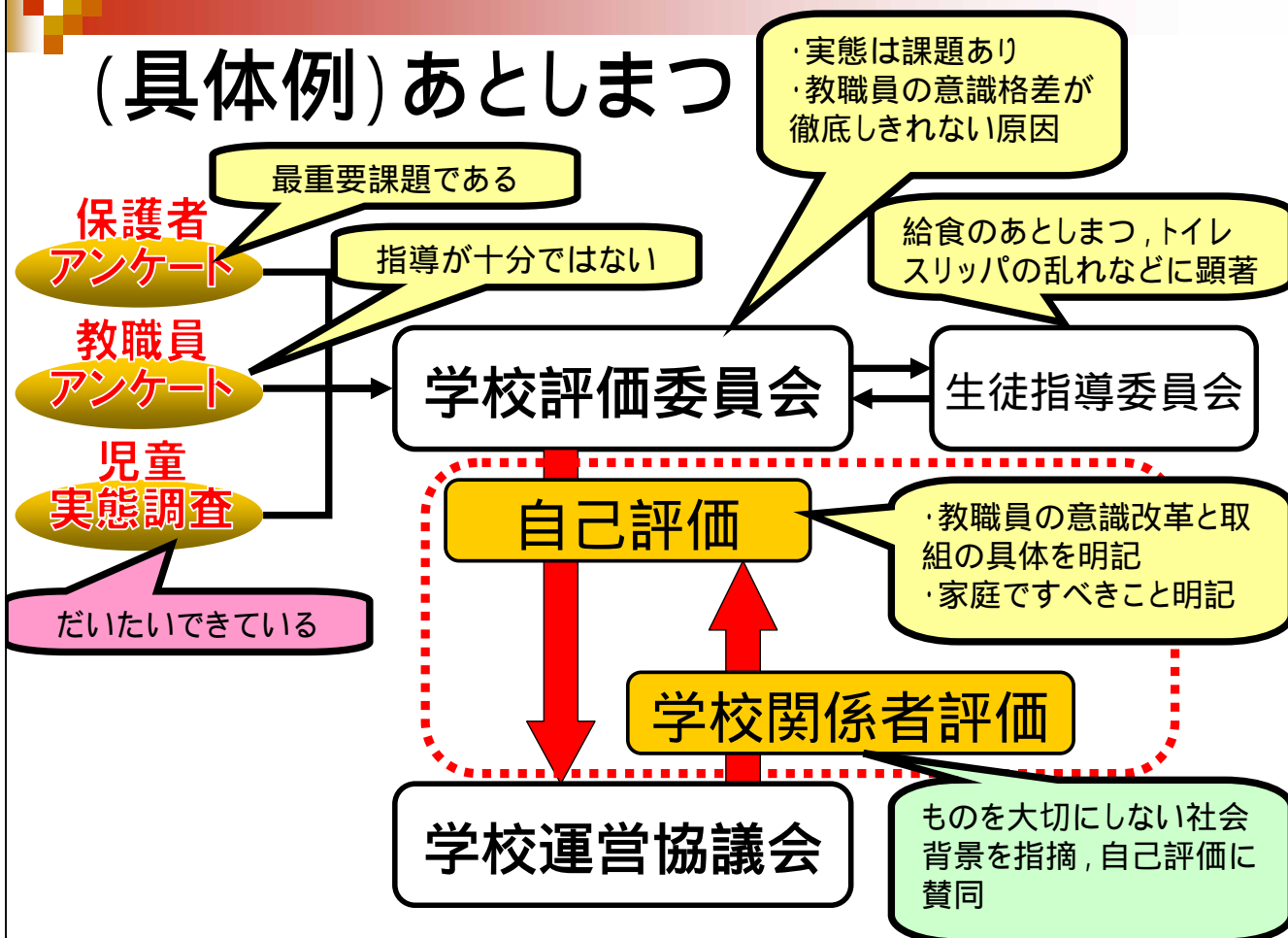
- ① おうちで我が子のノートを点検されますか。



# 学校評価の流れ



# (具体例) あとしまつ



## 学校関係者評価を生かす

### 1 学校運営協議会が直接行動へ

- 児童のコミュニケーション能力に課題  
小学生のケータイ使用に警鐘  
地域全家庭に啓発ビラの配布
- 「あいさつ」の取組強化をめざす  
大人どうしがしているか(PTA)  
見守り同様粘り強く(交通安全推進会)



## 学校関係者評価を生かす

### 2 学校運営協議会が家庭のしつけ・責任を明言

- 言葉づかいの指導強化を目指す

親が我が子に指導しているか  
親が我が子に話す言葉は適切か  
親が我が子の話をしっかり聞いているか  
親が社交の場に我が子を連れていくか  
しつけを学校任せにしてはいけない  
学校は引き続き正しい言葉づかいの指導を

## 学校関係者評価を生かす

### 3 学校運営協議会が学校の方針を強力に支援

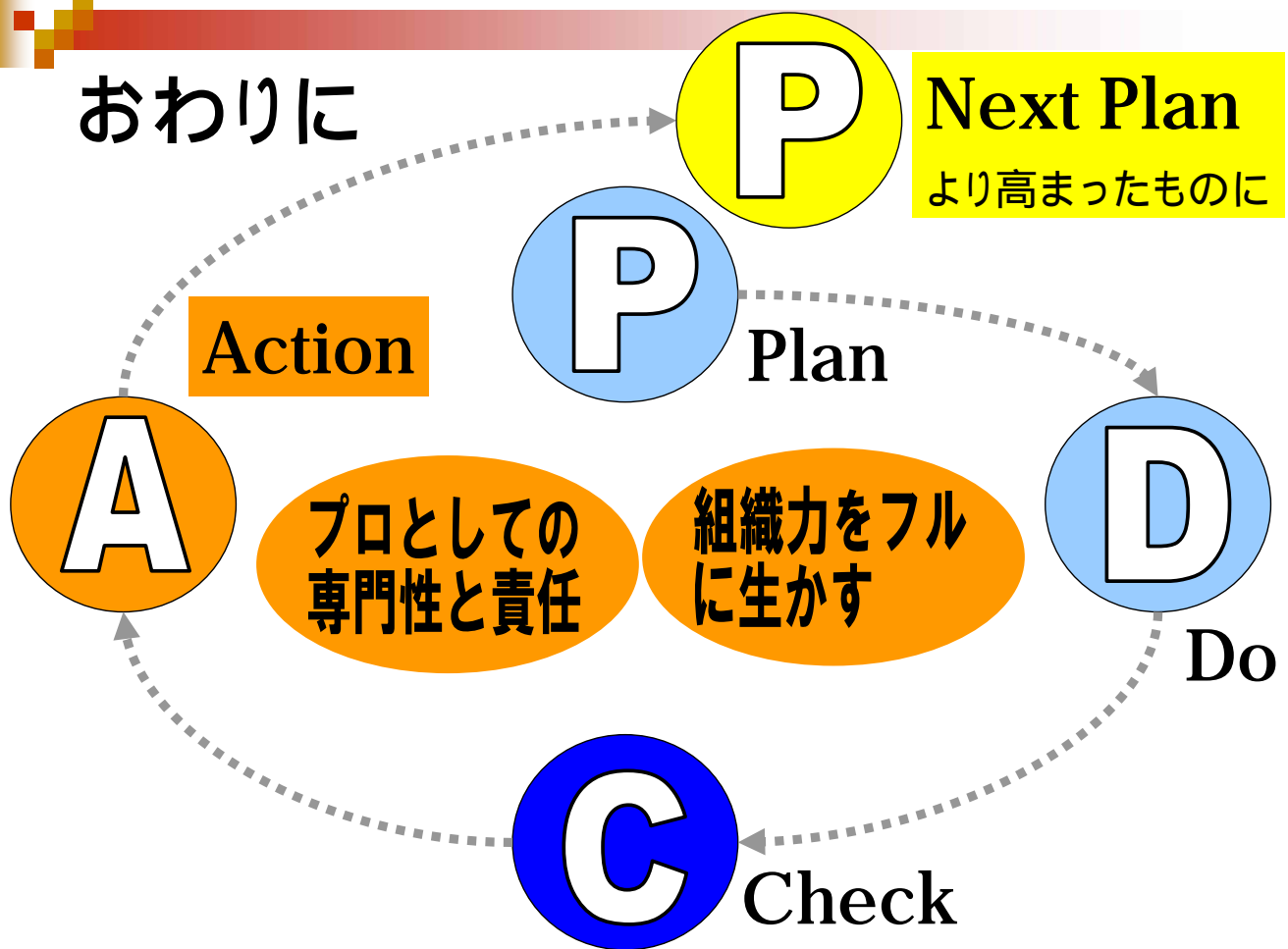
- 教師が黒板に書く板書を重視する  
子どもは内容と共に担任の姿勢を学ぶ
- 読書活動や辞書活用にこだわる  
デジタル社会だからこそ重要
- 食に関する指導をさらに推進する  
ランチルーム, アレルギー対応等充実  
自信をもって取組の継続を！  
より一層の広報活動を！

# 学校関係者評価を生かす

## 4 学校運営協議会が取組の改善を示唆

- 学校だより（地域版）の改善  
学校が地域にお願いしたいことを前面に  
読み手を意識した記事内容に
- 学校だより（保護者版）の改善  
どうしていいかわからない保護者のために  
学校が期待するモデルが伝わるように  
具体的な方法を例示してみても

おわりに



ご清聴ありがとうございました

嵯峨小学校の学校評価  
(学校運営協議会と  
学校関係者評価)

京都府 京都市立嵯峨小学校  
校長 牧 嶋 徹